気に入らないトリテなんて もう僕は知らない

20~30 分

3~6人

12 歳以上

< 内容物 >

- ゲームカード　30 枚
  - 水色　「1」~「10」　各 1 枚
  - 黄色　「1」~「10」　各 1 枚
  - ピンク「1」~「10」　各 1 枚
- ルールカード　6 枚
- ミープル　12 個
  - 6 色 ×2 個
- 親チップ　1 枚
- 説明書 (これ)　1 枚
- 説明書のおまけ　1 枚

< 開幕謝罪 >

左に書いた内容物で、
箱が一杯になってしまいました。
各ラウンドで獲得したポイントを
管理するために紙とペンを用いて
スコアシートを書く必要があります。
ごめんね。

→スコアシート (50 枚綴り)
用意しました !! ペンだけ用意してね。

表 1. プレイ人数とラウンド対応表

プレイ人数	周数	ラウンド数
3 人	2 周	6 ラウンド
4 人	1 周	4 ラウンド
5 人	1 周	5 ラウンド
6 人	1 周	6 ラウンド

< ゲームの準備 >

- ルールカード A~F を表にして 6 枚並べます。(外枠が白の方)
- プレイヤーは、好きな色の ミープルを 2 個獲得します。
- 最近、カスタネットを見た人は 親チップを獲得します。 (1 ラウンド目の親になります)
- 表 1 を参考に何ラウンド遊ぶか 確認したら、表 2 のように スコアシートを作成します。
- 左列の括弧内には、選ばれたルールの アルファベットを記入します。

表 2. 例)4 人プレイ時のスコアシート

round \ name	1ラウンド目の親	その左隣	その更に左隣	その更に更に左隣		
1 (　)						
2 (　)						
3 (　)						
4 (　)						
~~5 (　)~~						
~~6 (　)~~						
total						

< ラウンドの流れ >

手札を配る
↓
ルールを決める
↓
ゲームを行う
↓
ポイント獲得
↓
親の移動

＜手札を配る＞

・ゲームカード 30 枚をよく混ぜ、
プレイ人数に応じた枚数を配ります。
（表 3 参照）

表 3. プレイ人数と手札枚数対応表

プレイ人数	手札枚数	余り
3 人	8 枚	6 枚
4 人	7 枚	2 枚
5 人	6 枚	0 枚
6 人	5 枚	0 枚

＜ルールを決める＞

①親から順に、自分のミープルを
ルールカードに置いていきます。
置ける場所はルールカードの上側か、
ミープルエリアだけです。

※ミープルエリアには 1 ヶ所につき
1 個しか置けません。

②全員が 1 つ置いたら、親だけ
2 個目のミープルを置きます。

③ルールカードの上側に、
最も多くのミープルが載っている
ルールで遊びます。

（同点の場合、追いついた方のルール）

＜ゲームを行う＞

・選ばれたルールカードのルールで
ゲームを行います。
・選ばれたルールカードの「先手」と
書かれたミープルエリアに置いた
プレイヤーから始めます。
・置かれていない場合、親チップを
持っているプレイヤーから始めます。

＜ポイント獲得＞

・トリテの場合 (A~F,A’,B’)
トリックを最も獲得した……3pt
選ばれたルールカードのミープルエリアに
置いた数字とぴったりのトリックを獲得した……4pt
・ポーカーの場合 (C’)
最も強い役を出した……3pt
・大富豪、7 並べの場合 (D’,E’)
1 抜けした……5pt
・ボーナスステージの場合 (F’)
自分のミープルを置いた色のカード 1 枚につき…1pt
・スコアシートにポイントを記載します。

＜親の移動＞

・全員、ルールカードの上に置いた
ミープルを戻します。
・このラウンドでプレイした
ルールカードをひっくり返します。
・親は、親チップを
左隣のプレイヤーに渡します。

＜ゲームの終了＞

・全ラウンドが終わったら、
ポイントを集計します。
・獲得したポイントが最も多い
プレイヤーがゲームの勝者です！
（同点の場合、延長戦として
「C’ ポーカー」を行い勝った方）

＜ルール補足＞

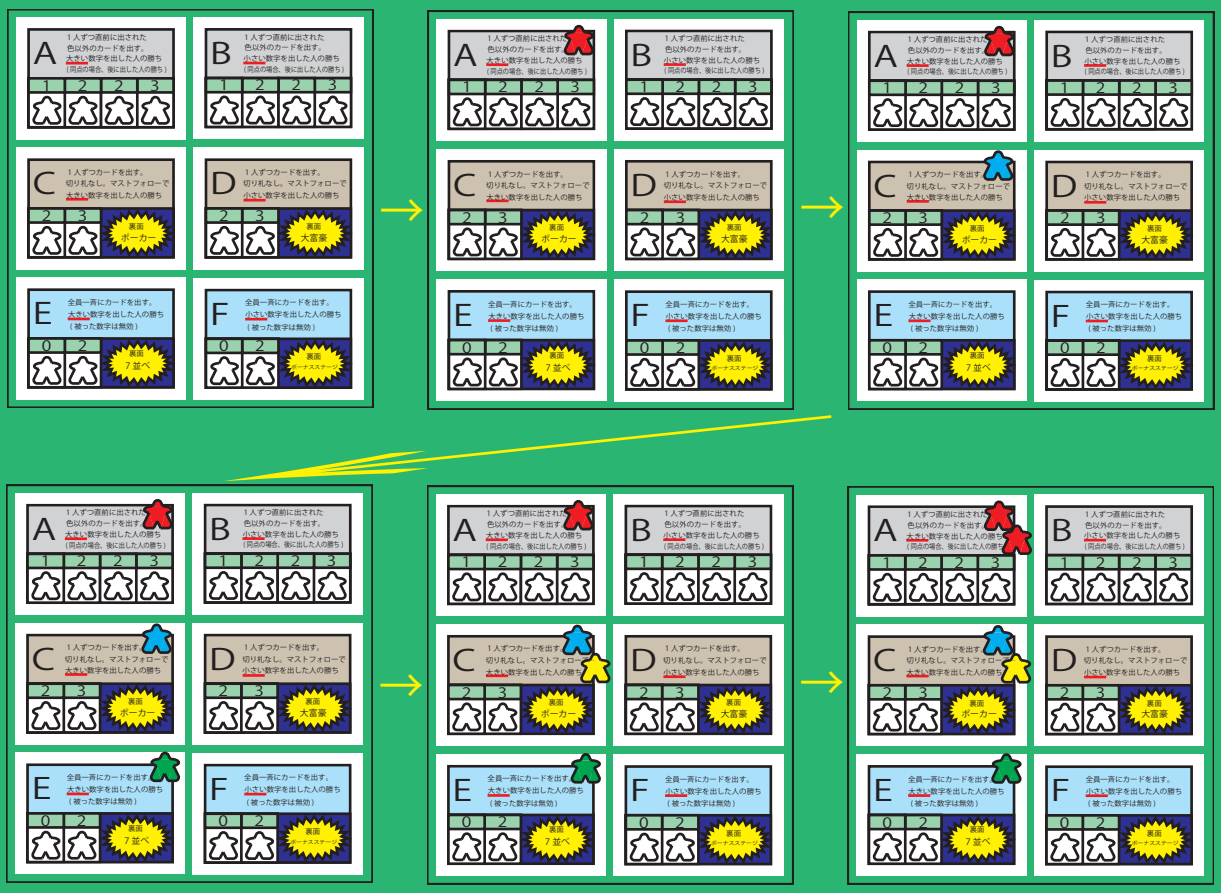
・「E’ 7 並べ」を遊ぶ際は、
余りのカードを先に置いてください。
・「F’ ボーナスステージ」は
選ばれた場合、全員ミープルを
好きな色エリアに置きます。
そして、「C」のルールで遊びます。
・不明点は箱の横の QR を参照してね！

designed by PREOPEN

説明書のおまけ

これは、説明書に入り切らなかった
イラストや例を載せるために存在する紙です。
このゲームで一番理解するのが難しいであろう
「ルールを決める」部分にこの紙の 75% が
使われています。具体例を 2 つ上げて
イラスト付きで解説しているのルール理解の
参考にしてください。

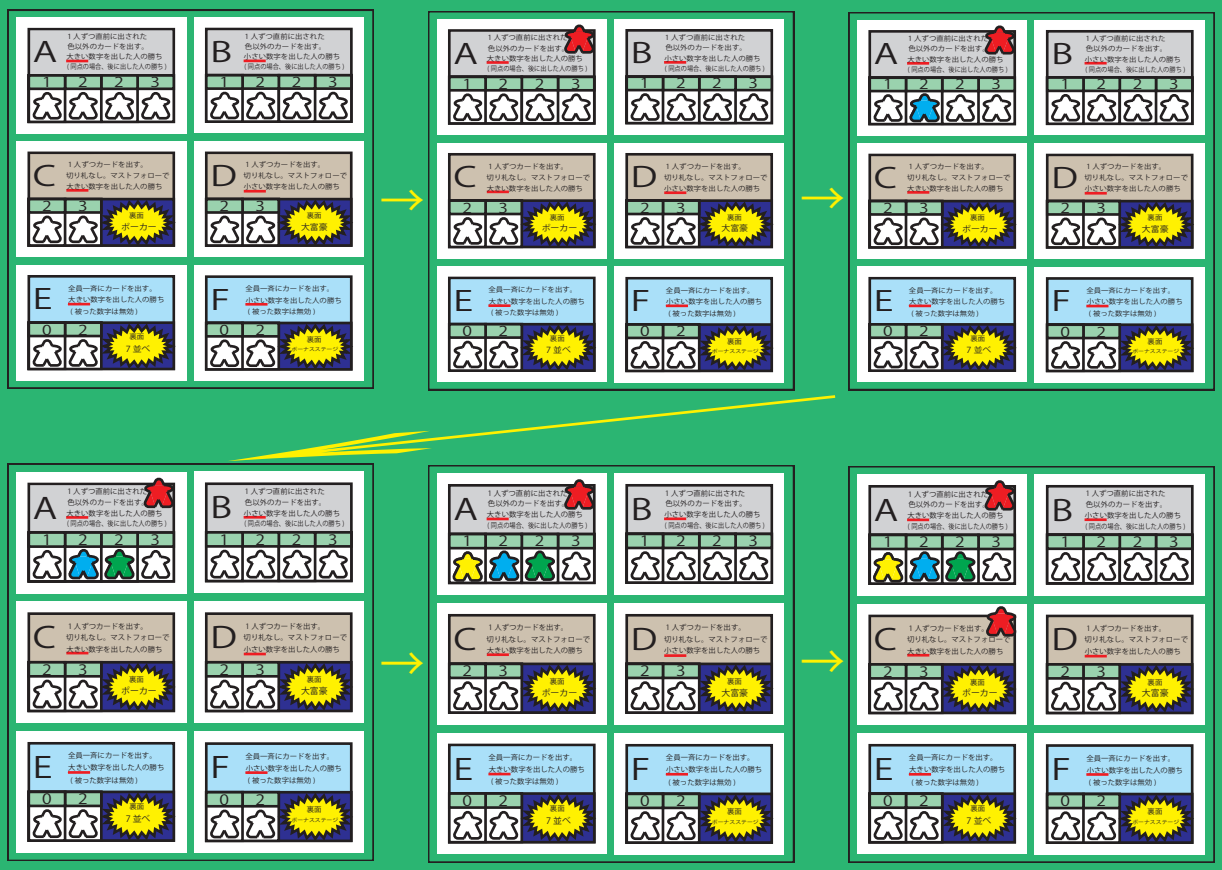
余白



例 1)

アリスが A の上側に置きました。
この状態だと、A が選ばれます。
ボブが C の上側に置きました。
この状態だと、C が選ばれます。
キャロルが E の上側に置きました。
この状態だと、E が選ばれます。

デイブが C の上側に置きました。
この状態だと、C が選ばれます。
最後にアリスが A の上側に
置きました。結果、A と C の
上側には 2 つずつ置かれてますが、
A の方が追いついたのが
遅かったので A のルールが選ばれます。



例 2)

アリスが A の上側に置きました。

この状態だと、A が選ばれます。

ボブが A の下側「2」に置きました。

キャロルも A の下側「2」に置きました。

デイブは A の下側「1」に置きました。

最後にアリスが置く番ですが全員高得点獲得のチャンスになるのは嫌だったので、C の上側に置きました。

結果、A と C の上側には 1 つずつ置かれてますが、C の方が追いついたのが遅かったので C のルールが選ばれます。

あとがき

説明書にあとがきを書くスペースがなかったのでここに書きます。今回 PREOPEN 初のトリックテイキングゲームとなりました。なぜトリテを 11 作目にして初めて作ったかをお話します。

実物には記載

実物には記載